

10 月 17 日早朝 4 時君津を出て、八戸へ直行。

その夜は八戸の居酒屋通りを見学して、次の日は久慈、田野畑村を経て、テレビで一躍有名になった「佐羽根」の陶仏をいくつか買い求めて宮古泊まりと予定していました。同行の二人の仕事が遅れて出発は 10 時になってしまい、常磐道から磐越道へ入り、新潟へと向きを変える事にしました。

極めて順調に走った車は 15 時には信濃川畔へと着きました。

信濃川両岸は釣り船、レジャーボートが係留されて、隙間の無い多さでした。日本海を目前に北陸の川のにぎわいを感じました。

私達がお目当ての「新潟ふるさと村」のバザール館、アピール館の 3 階建ての壮大な建物空間は何故か閉館？されて居りました。

隣接した水産物土産物市場は、ミニ寺泊の市を思わせるにぎわいでした。木更津の魚市場も朝は「せり市」午後は観光市場にしたらもっと活性化するかも・・・とふと思いました。

見たかった日本海への落日はあきらめて、反転してその夜は会津東山温泉へ帰ることにしました。

朝君津を出て凡そ 8 百キロも良く走ったなぁとの思いで、新潟銘酒菊水と濁り酒五郎八で昔話に花を咲かせて眠りました。

次の日は若松市内を 1 日かけて歩くことに決め、野口英世青春通りに車を預けて、七日町通りを歩きました。人口 11 万人、鶴ヶ城、白虎隊の史跡、東山温泉への観光客凡そ 300 万人（かずさ地域 1300 万人）の街でありましたが、私達が歩いた町並み凡そ 2 百店、それぞれ熱心に工夫され、家族ぐるみで明るい自信を持った商店街であり、上品なきれいな町でした。

特徴をあげれば・・・

- ①私達が歩いた 2 つの通りは電柱が埋設されているらしく全く見当たりませんでした。道を行く人の視界、街の景観をカメラアングルでとらえた時、美しさは全く違います。
- ②柏屋本店を代表にショウウィンドウには商品を並べず、ウィンドウは歩く人たちの目を楽ませる工夫をされ、商品は店内へ入って楽しみながら買い物をされるような配慮がされていました。お客様を大切にもてなす努力であります。
- ③ふと気づいた事は店内に流れる音楽でした。なぜか今まで私が経験したことの無い音量・音域でありました。この街作りには音作りをプロデュースしている人がいるのかなと思って聞きました。まちづくりには歴史、伝統、景観よき産物であります「感性」が付加価値として大切なことに気が付きました。
- ④私達の地域と少し違うと感じた事は旦那衆が店頭サービスされてお客様の対応されておられました。経営者が店頭におられることは客の希望、願望がよく分かる商いのコツでしょうから・・・三日目は早めに宿を出て大内宿へと向かい、10 時に私達が宿場を出る時はもう人の波で、十数年前の会津裏街道大内宿のひっそりとした佇まいは全く消えておりました。

観光の難しさです。久留里地域の方々には一見をお勧めいたします。折から世界恐慌であります、恐れず、できるだけゼイ肉をもっと削いで筋肉質の経営にしてください。

心配され資金繰りには日本政策金融公庫（会議所）を気軽に活用して下さい。